

近年発生した災害における仮置場の設置・運営状況(秋田市)

令和5年7月15日からの梅雨前線による大雨

令和5年8月25日

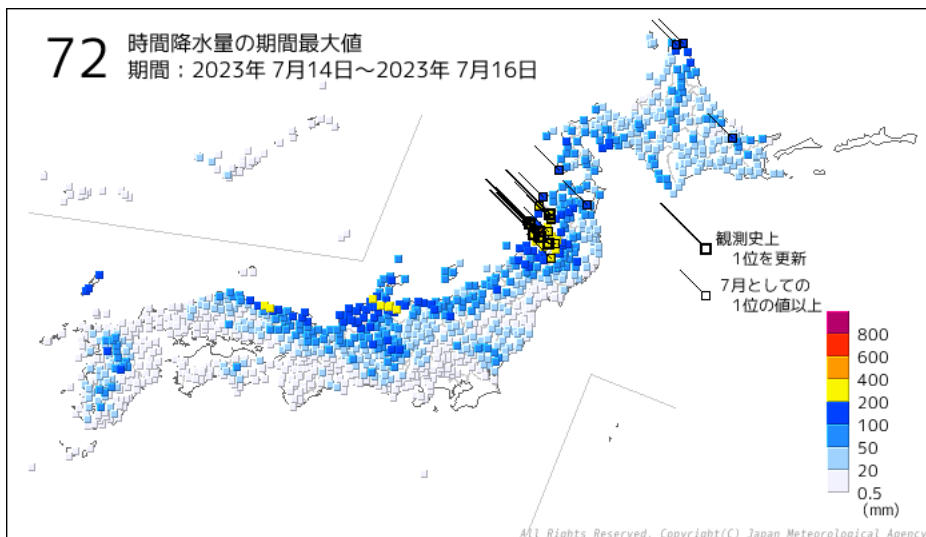


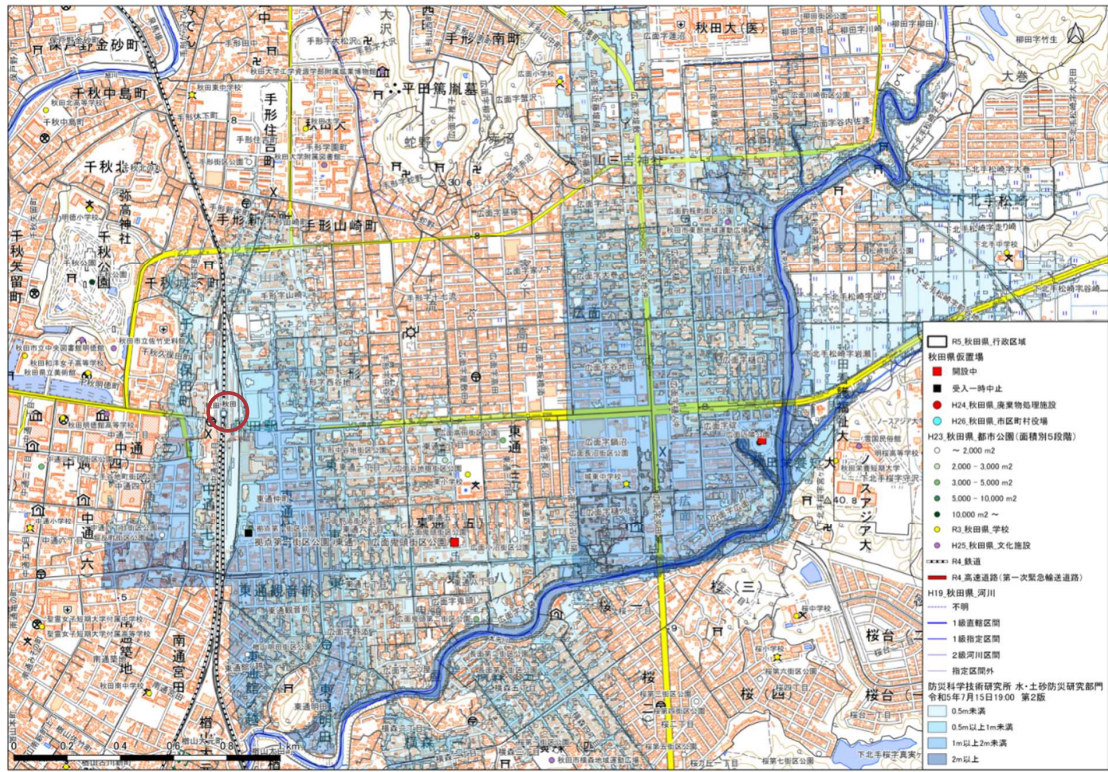
環境省近畿地方環境事務所 資源循環課

災害をもたらした気象の状況



- 7月14日から16日にかけては東北地方に梅雨前線が停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、前線の活動が活発となり、東北地方の北部を中心に大雨となった。
- 秋田県の複数の地点で、24時間降水量が観測史上1位の値を更新したほか、総降水量は秋田県の多い所で400ミリを超え、秋田県や青森県では平年の7月の月降水量を大きく上回る記録的な大雨となった所があった。





秋田市の動き（住民広報 7.18時点 一部抜粋）

お知らせとお願い

浸水による災害ごみの収集については、下記のとおり対応を進めているところです。ご協力をお願いいたします。

- 1 災害ごみの仮置き場として次の場所を指定しますので、ご活用ください。受入れについては、7月17日(月)午後3時から開始します。18日(火)以降の受入時間については、午前9時から午後6時までとなります。

【指定場所】

旧空港跡地、広面近隣公園、御野場南部街区公園、拠点第一街区公園(東通)、潟中島第二街区公園(大住)

お知らせ

下記のとおり、浸水による災害ごみの仮置き場を追加しましたので、お知らせします。

- 1 災害ごみの仮置き場として、大住小学校グラウンドおよび広面鬼頭街区公園を追加しましたので、ご活用ください。なお、拠点第一街区公園(東通)、潟中島第二街区公園については、受入可能容量を超えたため、一時受入れを中止しています。再開については、決まり次第改めてお知らせします。

【利用可能な仮置き場】

旧空港跡地、広面近隣公園、御野場南部街区公園、広面鬼頭街区公園、大住小学校グラウンド※広面鬼頭街区公園および大住小学校グラウンドについては、7月19日(水)から利用可能となります。

【受入時間】午前9時から午後6時まで

秋田市の動き（仮置場設置状況）



- 秋田市では、7月15日から大雨を受けて仮置場（一部集積所を含む）を7か所設置。
- それぞれの仮置場の詳細は以下のとおり。
- 仮置場の開設は比較的早く進んでいるが、面積が小さいところは最短開設の翌日に閉鎖となっている。
- 現状も開設しているのは秋田市総合環境センターと旧空港跡地。

NO	仮置場名称	面積 (ha)	開設期間
①	旧空港跡地	3.6	7/17(月)～
②	広面近隣公園	0.56	7/17(月)～7/24(月)
③	御野場南部街区公園	0.78	7/17(月)～7/21(金)
④	拠点第一街区公園	0.75	7/17(月)～7/19(水)
⑤	潟中島第二街区公園	0.18	7/17(月)～7/19(水)
⑥	広面鬼頭街区公園	0.3	7/19(水)～7/21(金)
⑦	大住小学校グラウンド	0.38	7/19(水)～7/20(木)
⑧	秋田市総合環境センター	—	7/17(月)～

※ 網掛け囲いの仮置場は住民用仮置場（集積所）

4

秋田市における仮置場等の設置状況



国土地理院(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)の地理院タイル(淡色地図)
 防災科研水・土砂防災研究部門
 (<https://map.bosai.go.jp/wiki2/wiki.cgi?page=2023%7C7%AF7%B7%E15%C6%FC%A4%CE%5%EC%CB%CC%A4%7%A4%CE%2%E7%1%AB>)
 を元に環境省作成

※写真は全て環境省撮影

5

秋田市の仮置場設置状況（旧空港跡地）



写真はD.Waste-Net(一社)持続可能社会推進コンサルタントが撮影

秋田市の仮置場設置状況（旧空港跡地）



写真はD.Waste-Net(一社)持続可能社会推進コンサルタントが撮影

秋田市の仮置場設置状況（旧空港跡地）



仮置場西側(畳)から東側方向に撮影



※写真は全て環境省撮影

積みあがった畳の山(約3~5メートル)

※あまりにも高く積み上がり過ぎると、内部での発酵(メタン等の可燃性ガス)や蓄熱が進み、火災のリスクが高まる。

8

秋田市の仮置場設置状況（広面近隣公園）



写真はD.Waste-Net(一社)持続可能社会推進コンサルタントが撮影

9

秋田市の仮置場設置状況（広面近隣公園）



写真はD.Waste-Net(一社)持続可能社会推進コンサルタントが撮影

10

秋田市の仮置場設置状況（広面近隣公園）



※動画は環境省撮影

広面近隣公園内の滑り台から仮置場内の全景(1周)を動画撮影

秋田市の仮置場設置状況（拠点第一街区公園）



南側方向に撮影



※写真は全て環境省撮影

北側方向に撮影

※ごみ量が多いが、フェンス等がない街中の公園という状況を踏まえると、分別ができています。

12

秋田市の仮置場設置状況（広面鬼頭街区公園）



※動画は環境省撮影

広面鬼頭街区公園の仮置場内の様子を動画撮影

※大量の災害廃棄物が置かれているが、市の職員の指示でここまで整理(分別)がされている

13

<良かった点>

- 仮置場開設が発災後の比較的早い時期に行われ、特に住民用仮置場には市の担当者が勤務時間中は常駐するなどの適切な運営管理体制が取れていた。
- 仮置場開設が早かったためか、管理されていない仮置場の個数が比較的少なかった。
- 分別受け入れが比較的できており、混廃化等が目立ったところはなかった。

<悪かった点>

- 昼間は市の担当者が常駐するなどの対応が取れており、不法投棄がほとんどなかったが、夜間に職員が撤収後は、フェンス等の不法投棄対策設備がない仮置場には不法投棄がされていた。
- 住宅密集部での被災ケースで住民用仮置場開設、解消も早かったが、まだ排出要求がある中で、各戸収集に方針変更をしており、先を見据えた対応(閉鎖後)が少し検討不十分のまま進んでいた印象があった。
- 仮置場内の人数等の不足があり、一部、混廃化の恐れや火災への懸念が散見される箇所がいくつかあった。